





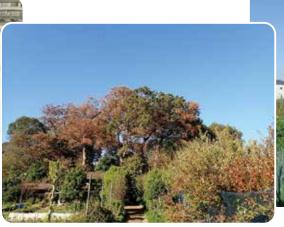
杉並の原風景

ものでした。 ほか、生活するうえで様々な用途をもつ 植えられ、冬の季節風から家や畑を守る た。また、農家の家の周りには屋敷林が する農村地帯でした。当時は畑や雑木 杉並区はかつて野菜や穀物などを生産 川沿いには水田が広がっていまし

るなど無駄なく使われていました。 木として、タケは籠をつくるのに利用す は腐葉土にして畑にすき込み、スギは材 キやカシ、スギやタケなどです。枯れ枝 や剪定した枝は燃料に、ケヤキの落ち葉 屋敷林を構成する代表的な樹種はケヤ

杉並の原風景と言えるものです。 するもので、屋敷林と農地のある風景は このように屋敷林と農地は密接に関係







産物の大部分が直販されていて消費者の 量ずつ生産している農家が多いです。 の農地で野菜が作られ、多くの種類を少 東京23区では5番目の広さです。 りする農家もいます。 る品目に絞り込み高付加価値化を図っ 設栽培のフルーツトマトのように特徴 ニーズに合わせて品目を増やしたり、 は41.99ね(ともに平成31年4月現在) 区内の農家戸数は135戸、農地面積 約7割 生 施

植木なども生産されています。 も産出額が多いです。栽培面積ではダイコ ウスを利用して栽培されています。また、 にはクリやカキ、 ンが最も多く作られています。野菜のほか ナスやコマツナ、エダマメ、キュウリなど 産出額の多い野菜はトマトで、多くはハ ウメなどの果樹や花木、



成田西ふれあい農業公園



場所▶成田西 3-18-9 開園時間▶9時~17時(年末年始を除く)

れる」 たり、農や食に関するイベントを通 に土とふれあい、農を「みる」「ふ 四季折々の旬の野菜を収穫体験し 区民が農に親しむ場として、

の大切さを発信しています。 して、都市における農の魅力や農地 「楽しむ」ことができる公園

